

もりかど 夢 みらいびと

守口支局編集長
U.K.
(稀雄二郎)



本紙編集長であり、もりかど夢・みらい大使であるラジオU.K.こと稀雄二郎は、この地域の最大の魅力は、人であると言います。そして守口市と門真市にゆかりのある人々を招き、地元での体験や活動の様子、今後の抱負を語ることで、夢をつかむことの素晴らしさを伝え、もりかどの魅力を再発見し、未来を切り開いていく勇気を持ってもらおうというコトナリがスタート。

「会社が倒産で、住まいが守口。まさに、もりかど人ですね？」

武内 もともとは高槻市出身で結婚、就職を機に門真へ移住した。門真はまったく知らない土地で、勝手に怖いイメージを持っていて、知り合いもおおむね不安でいっぱいだった。だが、高槻道路も近く、京阪電車が大阪市内への乗り入れも速く、交通の便がよみ、住みやすかった。離婚して母子家庭になり、仕事と子育てで忙しい日々だったが、近所人も温かく、仕事で忙しいときも面倒を見てくれて、本当に助けられた。子どもが門真市立洋小学校に入学し、先生も本当に親身になってくれた。

社長就任の経緯は？

武内 実家に頼らず、自分の稼ぎで子どもを育てる覚悟を決めた。それまで運送会社の営業事務で働いていた



AI警備保障 代表取締役
武内 千晶(47歳)

お世話になった経営者の突然の訃報 事務員から一念発起し、社長へ 「人生なんとかなる」



AI警備保障
門真市小路町1-12 門真グランドビル208
電話06(6900)6000

工事現場に於ける交通誘導警備や現場交通誘導警備、雑路警備や巡回警備、多様なニーズに対応している。

入社3年目、体調を崩していた専務の家に、会社で必要なお金を銀行に来るよりに言われ、助けた際に専務から「ありがとう」と言われた次の日に亡くなった。自殺だった。会社の経営をすべて専務に任せていた社長から会社を建て直してほしいと言われ、これまでいろいろ融通をきかせてもらい、お世話になって専務への恩返しもあり、経営に加える専務の代わりに営業を開始した。売上が2倍になり、役員への誘いもあったが、ほかの社員が「私のことをよく思っていないのでは」と断り続けていた。そんなときに事務員から武内さんが社長になるなら、私は泥船にのりますと言われ、一念発起し、社長に就任した。あの言葉がなければ社長にはなっていないと思う。

「守口へ引越したのには？」

武内 経営者になったことで商工会に参加し現在の夫と出会い、再婚を機に守口へ移住した。守口は母の出身地で、小さいころ守居神社でわじわじやんから正月のおもちも本をプレゼントしてもらった思い出の場所。親戚も多く、これまでいらいなことがあったが、新たな人生のスタートとして、ほっとできる場所、守口に戻ってこれたのは、すばらしい。

「もし市長になったら？」

武内 自身が母子家庭で周囲の人に助けられてもらったこととあり、たれでも自立できよう、ばらまきではなく自分で働いて稼げるよう、資格取得やスクールなど、自立するための施策を打ち出したい。

「今後の夢・未来は？」

武内 いい思い出しかない守口にこれからも住み続けたい。子どもも地元が盛り上がるイベントを開催していきたい。11月10日のもりかど未来まつり2024にはぜひ参加して楽しみたい。

「最後にメッセージを」
武内 みんなにはたいへんな人生を歩んで来たといわれるが、いつも近くにいる人が助けてくれた。今思っていると感じている人も、人生なんとかなるから大丈夫。

Photo by Shizuka